かわら版第2号（全3回）

北海道

平成30年12月発行

ひやまバリアフリーレジャー事業

回覧

体の不自由な方のための小さなひやまの大きなおもてなし

北部コース

視覚障がいの方も楽しんでいただける バリアフリーレジャーを目指して、 モニターツアーを実施しました！

三本杉海水浴場で海水浴

私は泳げないのですが、ビーチスターのおかげで波を楽しむことができました。

農園おりざでフェルト紡ぎ

羊毛フェルト体験や、手作りジャムのヨーグルトを頂きながらのティータイムも楽しめました。

＜北部ツアー行程＞

【1日目】
8：00 札幌駅集合
8：36 札幌駅出発（スーパー北斗）
10：57 長万部駅到着
12：30 昼食：ドライブインわっかけ岩
13：30 三本杉海水浴場
16：00 ホテルチェックイン
（温泉ホテルきたひやま）

【2日目】
8：40 ホテル出発
9：00 農園見学・フェルト紡ぎ体験
12：00 昼食：クアプラザピリカ
13：00 ピリカ旧石器文化館見学
勾玉ストラップづくり体験
15：22 長万部駅出発
17：41 札幌駅到着・解散

わっかけ岩で昼食

旧石器文化を体感

発行：北海道檜山振興局保健環境部社会福祉課　〒043-8558　檜山郡江差町字陣屋町336-3 / ☎0139-52-6651

奥尻コース

盲導犬のガーナ君もモニターとして参加！！

時空翔見学

奥尻島がずうっときれいなままでいてほしいですね。

彩風塘で昼食

とうもろこしの収穫体験

勾玉づくり

鍋釣岩見学

ミニチュア模型を触ることで、岩の形が想像できます。

奥尻ワイナリー見学

＜奥尻ツアー行程（一部抜粋）＞

【1日目】
9：00 函館市（自宅）出発
10：30 厚沢部農業活性化センター見学
野菜の収穫体験
12：00 昼食：うずら温泉彩風塘
光林荘宿泊

【2日目】
9：30 フェリーで奥尻へ
13：30 徳陽記念公園（時空翔見学）
14：10 奥尻島津波館見学
15：30 奥尻ワイナリー見学
奥尻湯ノ浜温泉ホテル緑館宿泊

【3日目】
10：00 稲穂ふれあい研修センター
見学、勾玉づくり体験
13：30 鍋釣岩見学
15：55 フェリーで江差へ
20：40 函館市（自宅）到着

南部コース

車いすユーザーがひやまの歴史を満喫！

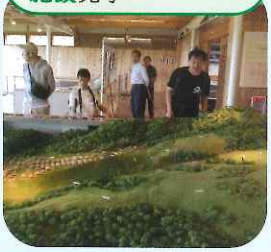
散策は施設も時間も良かったと思います。

開陽丸見学

車いすを抱えて甲板へ

地下へは昇降機でも下りられます

勝山館跡ガイダンス施設見学



町中漁業部でホタテ磨き

バリアフリーホテルあすなろで夕食

＜南部ツアー行程（一部抜粋）＞

【1日目】
9：51 新青森発（10：45木古内駅集合）
12：00 昼食：道の駅もんじゅ
13：00 上ノ国町歴史散策
旧笹浪家、勝山館跡ガイダンス施設
15：30 ホタテ磨き体験
ホテルあすなろ宿泊

【2日目】
10：00 いにしえ街道歴史散策
中村家、姥神神社、開陽丸見学
12：00 昼食：お食事処えさし
12：45 江差追分会館実演見学・山車会館見学
16：17 新函館北斗駅発（17：22新青森着）

今金

バリアフリーレジャー
各町の取り組み

足元に不安のある方でも安心してご利用いただけるよう、館内の各所に手すりを設置しております。浴室にはシャワーチェアも用意しておりますので、どうぞ気軽にご利用ください。

種川温泉休憩所

交流促進センターあったからんど

１０月２７日より新たな源泉でご利用いただいております。泉質はナトリウム塩化物強塩泉で、主に保温・殺菌・代謝の活性効果等が期待できる泉質となっております。

毎月最終の日曜日は２つの温泉施設を無料でご利用いただけます。
どうぞたくさんの方のご利用をお待ちしております。

視覚に障がいのある方への介助（お手伝い）

全く見えない人や、みえずらい人、色がわかりにくい人達がいます。
白杖（白いつえ）や、盲導犬を使ってお出かけをします。

注意

盲導犬に許可なく触ったり、声かけしてはいけません

盲導犬は気が散ってしまうとお仕事ができません。
使用者（飼い主）に許可なく触ったり、声をかけたり
しないようにしましょう。

＜盲導犬のお仕事とは？＞
目の不自由な方をサポートし、障がい物を避けながら安全に誘導することが主な仕事となっています。体にはハーネスとハンドルを着けて仕事をしています。

やってみよう！

「声かけ」や「誘導」によるお手伝い

・声かけが無いまま、急に杖や体に触られると怖いです。
・誘導をする時は手引きする人が少し先を歩き、
腕を掴んでもらうのが基本です。
手を引っ張ったり後から押したりしてはいけません。
・前から、声をかけて下さい。
声をかけられたのが自分だと気づかせてください。
その時に名前が分かれば「○○さん」と名前を呼んで
貰えるとわかりやすいです。

答え

前回（第1号）の問題の答え

①

②

③

①国際シンボルマーク
様々な障害者が利用できる建物・施設を示すマーク
②ヘルプマーク
外見から分からなくても援助や配慮を必要とする事を表すと同時に、周囲の人が配慮をしやすくするマーク
③マタニティーマーク
妊産婦がかばん等につけて周囲の人が配慮をしやすくするマーク